

ARRETIADO... CONCESSION 718

皇太子殿下特報

發行所 亞爾然丁時報社... Director: T. MIDZUNO

ル大統領領立内閣組織 聯合軍援助に乗出す?

【華盛頓二十一日電】ル大統領は、本日領立内閣の成立... 聯合軍援助に乗出すか?...

喜びに溢る、米國の聯合軍援助策

【倫敦廿一日電】米國領立内閣の成立に、英國政府は、米國政府の援助策に喜びに溢る...

佛政府の遷都

【倫敦廿一日電】佛政府は、昨日領立内閣の成立後、ロンドンからボルドーに遷都した...

英空軍の空襲

【倫敦廿一日電】英空軍は、昨日フランス領土に空襲を行った...

獨佛の休戦

【倫敦廿一日電】獨逸は、昨日フランスと休戦協定を結んだ...

佛國の戦況

【倫敦廿一日電】佛國の戦況は、各地で激戦が続いている...

休戦交渉特使

【倫敦廿一日電】休戦交渉特使が、各地を巡回している...

滿洲皇帝陛下の訪日

【新京廿一日電】滿洲皇帝陛下は、昨日日本に訪日した...

土耳其の警戒

【イスタンブール二十一日電】土耳其は、軍に出動し警戒している...

丸の内官廳街の落雷

【東京廿一日電】丸の内官廳街で落雷が降り、被害が出た...

北支共産軍討伐

【太原廿一日電】北支共産軍を討伐するべく、軍に出動している...

特殊鑛物資源の開発

【東京廿一日電】特殊鑛物資源の開発を進めている...

國策會社を設立

【東京廿一日電】國策會社を設立するべく、準備が進んでいる...

對佛軍事行動おはる

【伯林二十一日電】對佛軍事行動が、各地で進んでいる...

獨對英を敢行せん

【倫敦二十一日電】獨逸は、對英軍事行動を敢行する...

集會案内

日本基督教會、集會案内...

Yamashita Line (山下汽船株式會社) 極東—紐育—南米 定期航路

Osaka Syosen Kaisya (大阪商船會社) AV. ROQUE SAENZ PEÑA 616 2º PISO

The National City Bank of New York

安東商會 頭痛肩こり 高血壓

大阪商船會社 船種別運賃表

民主主義の擁護者 大英帝國の前途

レノールとマンデルの辭職と常に援軍を得たからであつた。同時に停戦命令となり講和開始した。然るに今次の戦争はその性質となつたことよりみて、レノールを完全に異にし、只一つのホーランドの徹底的な全面抗戦の壓力によつて政府、軍部首脳は引きつられてゐる事を知ることが出来る。巴里及び北方地方の工業地帯は獨逸の蹂躪する處となり、且つレノールの對米援助懇願の呼びかけも、自身の魁大な再軍備と防禦を以て、不完全な米國の軍事的效果を得ず、反對に佛軍を以て外溢に當てんとする策に出た。

十七日の議會演説でチャーチルは、フランス地方の英國遠征軍十五師團の中、僅かに三師團のみ佛軍と共に防禦に當つたと白状してゐる。

絕對優勢の獨逸軍より、大砲彈藥等最新式武器を守るために相當な犠牲者を出した。然し是は別問題として、昨年九月以來佛國戰線に送つた廿五萬の兵員の八分の七は無事歸還した。

實に英國はその兵員を無事に歸國せしめるために、魁大な兵器獨逸軍に渡し、佛軍を補つたのであつた。

絕對的優勢な海軍力を有する英國が全面的に制海権を確保し得ないこと、當時は獨逸工業活動が、大失敗を蒙つてしまつた。佛國に於ける共産黨運動を體成してゐる事等は既にフランスに於ける共産黨運動をコソコソと、タンヘルルを占領し、ジブラルタル及び佛國西の背後でブルフを行つてゐることは、明らかに報復手段に別ならない。百年戦争の過去に對つて考へても、ナポレオン戦争當初の十數年間に於ても、南阿爾卑斯で終結五萬五千を越えないブル軍は相手にホイット將軍は收戦の記録を徒らに累ね、とが出来る。

第一次大戦ではフレンチ元帥の率ゆる英軍がモンスの戦に敗れた。戦へば必ず敗れ何一つ英軍のために乾きする處はなかつた。然るに結果は？何れも英軍をして威名を作さしめたのは、

獨逸經濟の確立

此の數週間に於て西歐諸國の經濟資源が削減して行つた時、三年度に於ける工業方面の獨逸は一九三三年に確立した組織的經濟政策の産物を收穫して、於て、前古未有の好調を示した。此の數年獨逸は生産物の大部分を國防のために貯蔵してゐるが、就中三九年の九月以來の戦争遂行のための物資貯蔵率は其の倍加した。

獨逸經濟の統制と一元化は戦争の遂行と勝利を確保するためである。伯林の景氣觀測所の公表に依り獨逸經濟の效果は開戦の九月以後より戦勝となつて現れる。第一次大戦の當初と全然異なる。第一に失業率が、獨逸では現行法の規定により完全に、是を停止せしめてゐる。第二に、獨逸は現行法の規定により完全に、是を停止せしめてゐる。第三に、獨逸は現行法の規定により完全に、是を停止せしめてゐる。

信用手形取引所は流動性を有し、利率は減少し、貯蓄を増した。戦争の合理化は一般財政經濟に於ける統制が成功するか否やによつて決まるのである。

獨逸は三九年十月より十二月迄の二ヶ月間に、約六十三億ライクの軍需品の不足ではなかつた。石油は一千二百萬噸を貯蔵してゐる。是は三八年に比較して十六億ライクの増加である。

獨逸では新法令で戦線の兵士と國內の婦人との結婚は必要書類の提出で簡単に認められる。獨逸新聞は言論統制のために「ニューズ」を設けてゐる。

Fabrica Argentina de Cancho de Federico Gurewisch

カナダ・サン 生命保險會社
公認代理人、兼集金人
藤井精四郎
Colon 556 U. T. 5175 Cordoba
北亞支部係(ロサリオ、コルドバ、ツクマン地方)
近來最も多く邦人間に契約せらるる「養老保險」貯蓄、家族保護を目的とする最も有利な保險契約法であります。

日本人農業者洗濯店の御用命を乞ふ
ゴム靴製造販賣致します

25 de Mayo 21-29
U.T. 569-112
San Martin

CLINICA MEDICA CANGALLO
CALLE CANGALLO 1542
ATENDIDO PERSONALMENTE POR SU DIRECTOR
Dr. A. GODEL
MEDICO CIRUJANO

最新式獨逸療法
淋病 根治療法
梅毒 一六〇六號二九一四號
婦人病 心臓 胃腸
肺 腎臟 神經系統
各科専門

●日本人方には初診無料
●X光線 デアテルミー
●血液検査

診察日 自午前九時 至十二時
自午後三時 至九時
日曜 祭日午前中

Dr. BOIGEN
Medico del Hospital Alvear

クリニカ・アレマン
一般病弱症 男女花柳病
梅毒結核 腎臟病等
●呼吸器病専門●
エックス光線科 血液検査
●初回診察料 五時
午後二時より八時まで
日曜午前十時より十二時まで

Bm. Mitre 1305 1er.piso

會席御料理仕出し
▽日本酒の用意あります
△祝儀、御結婚、御誕生
宴會はだるま亭へ
△祝儀、御結婚、御誕生
▽日本酒の用意あります
△祝儀、御結婚、御誕生
電話 二二一四〇九二

大阪商船會社指定
三等切符仲次所

船舶御用商
森川・鹽澤商店
パセコロン街四七〇
電話 三三三三・四一七〇
電話 三三三三・四一七〇

ERNESTO COCO
15 de Noviembre 2335
U.T. 23-2835

ケロセン廉賣
永年日本人洗濯店並二御家
庭ノ御最ヲ蒙ツテ居リマス

Sebastián Rosselló
MARTILLERO PUBLICO

迅速に且つ手数料
大勉強で取扱ひます

●ネゴシオの賣買
●市役所の出願手續
●法律事務一切

●邦人間唯一の染色工場
●設備完全 仕事入念

齋藤染色工場
ラカラア街一四一七
電話 二二一七七一
アベジヤネダ

新古品大小型各種
カルデラ アパボル販賣

カ
フ
薩
エ
摩
有水武二
久松純雄
竹ノ内謹義
加藤吉隆

ヘネラル・オノス街五五
電話 二二一〇五二六

新刊到着!!
送料六仙
◎阿部信夫著「海軍航空戦」
三巻五〇仙 送料二五仙
◎竹田敏彦著「現代小説「日本の妻」二巻五〇仙 送料一五仙
◎博文館常用日記 輸入特製
二巻八〇仙 同上製二巻五〇仙
◎普通版 一巻八〇仙 送料各二〇仙 小型版一巻五〇仙 送料一五仙

蔵田書店
カセロス街一九八三
電話 二二一九八七二

時計販賣
並びに修繕
◎装身具各種取揃へて居ります
◎博文館常用日記 輸入特製
◎電話で御一報次第参上致します

東京堂時計店
ベルナルド街
イリゴイエン街四七〇
電話 三三一五六一七

洋服の新調は
『コンチネンタル』で
上等布地で着心地良
く御仕立致します
日本人方には月賦で大勉
致します

デフエンサ街一三六三
電話 三三三〇七四八

東洋軒
ベネチア街五三三(三階)
電話 三三三三・三三三三
電話 三三三三・三三三三
電話 三三三三・三三三三
電話 三三三三・三三三三

診療所
◇毎日午後九時より
急患はこの限にあらす
慈善病院と連絡を取り
入院隨時
◇擔任醫師 内科専門
ドクトル
クレメント・ピツシ氏

海外婦人協會
ウンベルト・アリモ街一六六一
電話 三三三三・二八四

尾崎 等
尾崎 等
尾崎 等

尾崎幸千代
ベル街一七九五

ホフマン式ブランチャ機
並カルデラの修繕取付一
切廉價にひきうけます

ホフマン會社指定機士
トリビオ・ゴメス
ロドリゲス

チャカゴコ街八九六
電話 三三三三・一九二
全私宅 三三三三・四六四

CAFE JAPONES
K. UCHINO
LAS HERAS 667 TUCUMAN

ツクマン市
内野喜吉



我が闘争

【縮譯】 マイン・カンフ

ホフマンは、我々に「ヴェルサイユ條約」に關して...

「戦争の罪」について、それは、それが...

「平和條約」について、それは、それが...

「ヴェルサイユ條約」に關して、それは、それが...

「我が闘争」の効果を、それは、それが...

Taller Mecanico de G. GONZALEZ. 38-5923

MIRANDA Y DA CONCEPCION Caldereros. 2390

LA MUSUME Suipacha 559 U.T. 55-2565

ラ・ムスメ. 五月十七日入

JUGUETERIA TORRO. SARMIENTO 540

KEROFIX. Del Sr. ALEMAN (MARTIN)

SASTRERIA "TORRO". SARMIENTO 654

ベルグラノ 525. BELGRANO 525

Gran Taller de S. MIYAZONO. RIVADAVIA 3519

PLATA BRAUN. Bernardo Braun e Hilo

FRANCISCO SANTERO. Ex mecánico de la Cía. Hoffman

助産婦 (入院隨意). 電話七〇一九九

Medicinal News. 28 - Suipacha - 28

村武へ. 御注文は...

かまぼこの 御注文は. 御注文は...

LUIS GORI HNOS. LIMA 1029 - U. T. 23 - 2897

時局に鑑み

ア國の國防強化

一億ペソを軍備費へ

歐州戰が豫測通り獨逸側の勝利に終りさうになつて来た。米國政府の強硬な態度に鑑み、英國政府も獨逸の軍備擴張を抑制する事に努力する。英國政府は獨逸の軍備擴張を抑制する事に努力する。英國政府は獨逸の軍備擴張を抑制する事に努力する。

ウ國のナチ運動

秘密團體明るみへ

【モンテビデオ廿日】今日のウ國に於けるナチ運動は、獨逸政府の指導によるものである。獨逸政府は獨逸の軍備擴張を抑制する事に努力する。

ガスコニ一號

爆發事件

英國貨物船ガスコニ一號の爆發事件は、獨逸政府の指導によるものである。獨逸政府は獨逸の軍備擴張を抑制する事に努力する。

獨ウ外交關係

【モンテビデオ廿日】

獨逸政府は獨逸の軍備擴張を抑制する事に努力する。英國政府も獨逸の軍備擴張を抑制する事に努力する。

ア國石油を壟斷する

外國資本 下院の論争

ア國下院は社會黨選出代表ラスト（スタンダード・オイル）の石油壟斷案に對し、外國資本の輸入を制限する案を提出した。

聲明書

時局重大にして在亞同胞打つて一丸となすべき秋に當り、これ以上同僚間に於て對立抗争することの非を覺り、且つ又帝國領事館に對し、獨逸の軍備擴張を抑制する事に努力する。

南米の諸邦へ

獨鋼鐵を廉賣

【紐育二十日】紐育の「紐育タイムズ」紙の各紙は「獨逸の鋼鐵を廉賣する」と題し、獨逸の鋼鐵を廉賣する事に努力する。

日會青年部

創立總會開催

來る三十日（日曜）日會青年部の創立總會を開催する。場所は、モンテビデオの中心部にある。

在亞日本人

公教會便り

來る二十三日（日曜）は本會の公教會便り。場所は、モンテビデオの中心部にある。

母國訪問團募集

今回本會は紀元二千六百年記念事業の一つとして母國訪問團を募集することに努めた。非常時日本の再認識の爲に、第二世界に於ける日本の地位を思はせ、左記規約第一條の上の希望の方は、本會事務局迄の旨を申し送り。

水産屋

製造日 火木土曜日 配達日 水金日曜日 地方や田舎への御土産に極力調法 アベジャネータ市 ビルマジョウ街 電話(二〇)九二二

ケロセン 販賣

ナフタ並にケロセン 販賣 吉田彌三郎 市内ルパノ街三〇八（バルカレ街角） 電話 三三一六五四

在亞日會青年部

創立總會召集狀 來る六月三十日（日曜）午後二時より本會（ハタチノ街第四〇番）に於て本年三月の定期總會に於てその設立を可決された本會青年部創立總會を左記日程により召集可致候間何卒御出席相成被下度此御通知申上候

健やかに 育ち行く

モンテビデオの子供の會

現在十四名に達してゐる。稲富孝輔氏の主宰するモンテビデオの子供の會は、産みの親稲富孝輔氏、稲富氏の第二世の小さい頃に、日本の語に依つて徳育を植えつけ、やうに努力を続けてきたが今回

Banco Municipal

五萬磅迄の定期預金に對しては 年利三分乃至 三分七厘五毛

CASA CENTRAL: SUIPACHA 665
SUCURSALAS
No. 1 Rivadavia 2499 No. 4 Boedo 870
No. 2 B. de Irigoyen 1459 No. 5 Corrientes 5379
No. 3 Rivadavia 7232 No. 6 Corrientes 3099

CAJA NACIONAL DE AHORRO POSTAL

一、比類なき特点

- 一、國內の如何なる貯蓄機關と雖も、金者に對して左の特點を提供する事が出来ません。
- 二、五千磅迄の預金に對する差押への不能。
- 三、預金を購入された一萬磅迄の都市農村土地家屋に對する差押への不能。
- 四、國內各地に散在する支局を仲介して如何なる地點からでも同一の預金帳に依つて取引し得る便利。
- 五、通信郵便の免除及び電信送金の手料無料。

二、特點

- 一、國內の僅かなる貯蓄機關のみが、金者に提供し得る特點。
- 二、取引に對する國家の保證。
- 三、預金は年復年積立によつて保證される。
- 四、既婚婦人及び未成年者に對する便法（既婚人は夫の許可なくとも預金の出入りが出来ます。未成年者は自分勝手手印に年齢五十磅迄引出す事が出来、又保證人の許可ある時は如何なる金額をも引出す事が出来ます。
- 五、支拂證（セツラ・パラ・レンゴルソ）に依る甘藷迄の小額一覽拂、支拂證は預金者の求めに應じて交付致します。
- 六、預金最低限度は一磅、印紙及び貯金箱を利用してセントポスを貯蓄する便法。
- 七、不定期利息付預金の引受。
- 八、預金者死亡の場合の手續の簡便さ、その預金が五千磅を超せば、何等相續繼承決定及び法律手續を踏まなくとも遺産繼承關係の分明せる有權者に預金を直接引渡します。同じく兄弟への遺産となつた場合も預金が五百磅を超せば、時は直接引渡します。
- 九、預金者が病氣の場合五磅以上の金額ならば預金の自宅へ搬戻聯當。
- 十、中央郵便局其他特種郵便局に於ける受付時間は特別長時間なる事。

亞國貯金局

¿Qué es lo fundamental en el progreso japonés?

Por Nyozekean Hasegawa

Suelen decir algunos que el Japón, que era una tierra de hadas del Extremo Oriente hace medio siglo, está ahora convertido en una amenaza para el mundo. Semejante parecer, paradójico como es, representa el colmo de una serie de equivocadas fantasías que se vienen propagando acerca del Japón, hoy como antes.

Había cierta verdad en el punto de vista occidental del Japón, considerado como tierra de hadas, comenzada con las narraciones de Marco Polo. Existen, ciertamente, aspectos sugestivos de cuentos de hadas en el panorama japonés y en algunas fases de la vida de su pueblo. Por otra parte, las imaginaciones de Marco Polo acerca del Japón, tenían por base las creencias que tenían entonces los chinos del Continente sobre las islas del Oriente, de las que sólo conocían por referencias tradicionales de origen remoto. Estas creencias tomaron cuerpo para formular visiones fabulosas tales como aquel cuento de que los caminos en el Japón eran pavimentados de oro y piedras preciosas. Estas visiones eran meros símbolos para hacer del Japón un paraíso del Oriente, en donde moraban numerosos desterrados o refugiados políticos del Continente, gozando del beneficio del gobierno benévolo y de un pueblo de notable capacidad para la asimilación de lo exótico.

China tuvo su propio paraíso, encerrado por montañas y ríos, hasta donde no llegaban los ecos o efectos de los frecuentes cambios dramáticos de dinastías, una tierra de paz permanente que ha sido el tema favorito de sus poetas y pintores. Pero este reino chino no era sino una pura fantasía de los idealistas chinos.

Pero, el Japón no ha sido nunca una comarca de estado tan primitivo como lo pintan en los cuentos de hadas. Ya en épocas anteriores a la Era Cristiana, el Japón tuvo su propio gobierno y vida nacional que denunciaban un estado de civilización apreciable, producto de su creación, mejorada por el contacto con las civilizaciones del Continente, con características bien peculiares, diferentes de las de los países circundantes.

Se ha dicho, asimismo, que la civilización antigua del Japón era semejante a la de la antigua Grecia; pero Grecia fué conquistada por una nación rival de civilización más desarrollada y más nueva. Japón no ha sido nunca, ni siquiera invadido. El Japón tuvo, también, un período de decadencia parecida a la de Grecia, cuando la civilización de Kioto de los siglos XI y XII decayó, pero esta nación logró reaccionar a su debido tiempo y con su propio esfuerzo para reconstruirse en la edad media, cuando Europa se hallaba

en la obscura edad de tinieblas, imponiéndose con una nueva civilización tan pura como la del Renacimiento. Fué esta edad de florecimiento cultural del Yamato, la que sirvió de cuna para la nueva planta de la civilización moderna del Japón que floreció brillantemente en la era de Meiji.

La creencia generalizada en el Occidente, que supone que la modernización del Japón data de la restauración de Meiji, es un serio error. Ya en los primeros años del shogunato de Tokugawa, principios del siglo XVII, la literatura, artes y la ciencia en general en el Japón seguían un desarrollo comparables con las de la Europa moderna, fenómeno que prueba que la civilización japonesa del siglo XIII, cuando fué establecido el gobierno federal, estaba poseída de características tan adelantadas como la de la civilización del renacimiento en Europa. Todos estos hechos históricamente comprobados nos permiten afirmar que el Japón ha sido siempre un país peculiarmente humano con civilización propia, en vez de ser un país de cuentos de hadas. Son evidentes las características de su civilización antigua como no hay paralelos en ninguna parte, ni en el Oriente ni en el Occidente, porque es único en la historia del mundo. Quien es capaz de comprender estos antecedentes de la historia japonesa, no puede hallar dificultades para darse cuenta exacta del rápido progreso del Japón en la era de Meiji, que fué la evolución normal al contacto de la corriente occidental.

Pero, para aquellos que consideran al Japón como una tierra de hadas, el desarrollo realizado por aquél puede ser apreciado como una amenaza. Acaso, porque piensan que existen sobre la tierra hadas que repelen al opresor cada vez con más fuerza, a medida que la opresión sea mayor.

La fuerza de carácter con que el Japón ha sostenido su larga historia no ha sido de la naturaleza mágica como la del héroe del cuento de hadas, sino de aquella que funciona muy realmente en el mundo humano, con las cualidades de un valor verídico. Por ejemplo, cuando la ciencia estaba en su infancia, los japoneses demostraron con sus actividades la posesión de capacidad científica poco común, evidenciando su carácter peculiar. Ahí estaba el racionalismo científico, aunque inconsciente de tal, en muchas de sus instituciones y productos de la civilización. Desde los primeros períodos de su historia hubo esfuerzo del gobierno para propagar en el interior del país la cultura que había tomado raíz teniendo por centro a la Corte

(Continúa en la 3ª pág.)

Sai Sho - Ki

AFAMADA BAILARINA COREANA
DEBUTARA EN EL POLITEAMA

Sai-Sho-ki, llamada La Gracia del Extremo Oriente, nacida en Seul, capital de la antigua Corea, es descendiente de una noble familia, célebre por la belleza física de sus miembros y por el prestigio de sus hombres en la poesía y en la literatura.

Impulsada por la pasión hacia la música y la danza se trasladó a Tokio, Japón, para estudiar con el gran bailarín japonés, Baku Ishii, quien en poco tiempo hizo de Sai-Shoki la primera bailarina de "Ballet" de la capital nipona, famoso en todo el Extremo Oriente. Luego, regresando a su país natal, trabajó para hacer resucitar las



viejas danzas tradicionales de Corea, y abandonando las modernas danzas occidentales, se convirtió en la espléndida bailarina clásica de Corea. Los críticos la colocan en el mismo nivel de Uday Shan-Kar en la India, Isidora Duncan en América y Ana Pavlova y Antonia Mercé en Europa.

Esta maravillosa bailarina del país de la mañana apacible debutará en Buenos Aires, por vez primera, el 24 del corriente, en el Teatro Politeama de esta capital.

El Instituto Cultural Argentino-Japonés ofreció ayer una recepción en su honor, acto al cual asistió el ministro del Japón, señor Iwataro Uchiyama y señora, y una concurrencia numerosa entre socios y amigos del Instituto, donde colmaron de cordiales agasajos a la célebre bailarina clásica de Corea, mundialmente conocida y aplaudida.

PAGINA DE ACTUALIDADES

ES IMPORTANTE LA COOPERACION INDOCHINA A CHIANG-KAI-SHEK

Tokio, Junio 19. — A raíz de la situación delicada de Indochina, relacionada con la rendición del ejército francés, se han hecho publicaciones aquí sobre la ayuda violatoria que ha cometido y sigue cometiendo esa colonia francesa a favor de Chiang-Kai-Shek, enemigo del Japón.

Un oficial de marina conocedor de las condiciones actuales de esa región denunció que la ayuda militar que recibe Chiang-Kai-Shek por conducto de la Indochina, Vía Hong-Kong, se estima alrededor de 150.000 toneladas de cargamentos de artículos bélicos por mes, lo que le permite sostener la resistencia al caudillo chino de Chung-King contra el Japón.

Esta violación de neutralidad, por parte de Francia, no será tolerada por más tiempo por el Japón que acaba de reiterar su protesta con fundamento y pruebas irrefutables.

PROTESTA JAPONESA CONTRA FRANCIA

Tokio 19. — El Vice-Ministro de Relaciones Exteriores, Señor Tani protestó nuevamente ante el Embajador Francés, M. Henry por la continua ayuda militar que presta la Indochina a las fuerzas de Chiang-Kai-Shek comprobada por diversos conductos. El embajador francés habría contestado que el Gobierno de Francia ha tomado las medidas necesarias para que las autoridades de esa colonia abandonen voluntariamente la ayuda a las fuerzas chinas, con lo que queda confesada que esa ayuda violentaria de la neutralidad ha existido y existe de parte de Francia.

LAS CONSECUENCIAS DE LA CAPITULACION DE FRANCIA

Tokio, Junio 18. — El Gobierno del Japón sigue con preocupación la marcha de los sucesos mundiales como consecuencia de la capitulación de Francia, por múltiples razones que pueden afectar los intereses del Japón en el Asia Oriental, ya que su política de no-intervención y el mantenimiento de la paz del Extremo Oriente puede ser amenazada. La rendición de Francia facilita a Alemania la posibilidad de acción en el territorio británico y la conquista del territorio francés le proporciona grandes ventajas económicas para proseguir la lucha, lo que constituye un golpe serio para la Inglaterra, mientras que el hecho aumenta la posibilidad de que entre en la guerra los Estados Unidos, así como la actitud preventiva de los Soviets contra Alemania que podría resultar en el avance de su ejército hacia Besar-

bia, etc., que complicarían cada vez más la situación que, a su vez, puede llegar a extender sus efectos en las colonias francesas de Indochina y Nueva Caledonia, en donde es posible sospechar la intervención anglo-americana. Por eso, muy especialmente por lo que pueda suceder en las dependencias francesas del Oriente, el Japón observa con atención máxima, para evitar los trastornos y la modificación del statu quo que no podrá tolerar.

CHANG-KAI-SHEK SIGUE RECIBIENDO AYUDA ANGLO-FRANCESA Y NORTEAMERICANA

Osaka 18. — En el vapor "Koryu Maru", procedente de Rangoon llegó el Señor Hideo Tenabe, comerciante radicado en aquella ciudad, quien declaró que la ayuda militar en Inglaterra y de Francia para las fuerzas de Chiang-Kai-Shek continúa sin interrupción a través de Birmania y que, en los últimos tiempos, cada vapor que llega a Rangoon trae importantes cargamentos bélicos de origen inglés, francés y norteamericano, especialmente aviones de bombardeo y numerosos fusiles checoslovacos enviados por Francia, según confirma un agente soviético de la misma localidad.

SEGUNDA ADVERTENCIA DEL JAPON A LOS ESTADOS UNIDOS

Tokio 18. — En vista de que el Gobierno de Washington contestó a la advertencia del Gobierno del Japón con fecha 14 del corriente comunicada a todas las potencias solicitando que impartieran órdenes correspondientes para que sus connacionales residentes en Chungking se alejaran de aquella capital china que es una plaza fortificada que las fuerzas niponas tienen la necesidad de bombardear, a fin de evitar consecuencias ingratas, previa crítica formulada por el Secretario Hull en la prensa de su país, expresando que ha tomado nota del contenido pero que el Gobierno Americano no puede obligar a sus ciudadanos que cambien de su residencia, e informó al Gobierno del Japón que sería conveniente que sus fuerzas dejaran de bombardear a Chungking, el Ministro de Relaciones Exteriores del Japón, Señor Arita, se dirigió por nota al Embajador Americano para que transmita la nueva advertencia del Gobierno del Japón a su Gobierno, reiterando la anterior, insistiendo

que el Gobierno Washington tome las medidas aconsejadas, para evitar consecuencias desgraciadas e innecesarias.

LLEGO A YOKOHAMA EL CRUCERO LA ARGENTINA

Yokohama 20. — Llegó hoy a este puerto, sin novedad, el buque escuela "La Argentina".

SERA RESUELTO SATISFACTORIAMENTE EL INCIDENTE DEL BOMBARDEO DEL BARCO JAPONES

Tokio, Junio 17. — El Ministro de Holanda, Señor Pubst visitó ayer al Ministro de Relaciones Exteriores del Japón para informarle que el Gobierno de Holanda, previa averiguación del lamentable suceso del bombardeo de un buque pescador japonés en los mares de la India Oriental Holandesa, dará la solución satisfactoria que requiere el suceso.

UN NUEVO PAQUETE TRANSOCEANICO DE LA NIPPON YUSEN KAISHA

Nagasaki 17. — Completamente terminado el equipo interno del nuevo paquete de lujo de la Compañía Nippon Yusen Kaisha, el "Yamata Maru", gemelo de "Nitta Maru", de 17.200 toneladas, construido en los astilleros de Mitsubishi, que realizará la prueba de sus máquinas el 20 del corriente, debiendo ser entregada a la empresa de Yokohama el 31 de julio próximo. El nuevo transoceánico saldrá en su viaje inaugural a San Francisco, en el próximo mes de agosto.

ESPAÑA ESTARIA PREPARADA PARA ENTRAR EN GUERRA AL LADO DE ALEMANIA Y DE ITALIA

Londres 17. — Según informaciones que se tienen en esta Capital, habrían numerosos agentes alemanes en el límite franco-español, que adquieren armamentos en España para que sus fuerzas y que, a pesar de los esfuerzos anglo-franceses, España estaría preparada para entrar en guerra a favor de los alemanes e italianos, en caso que así lo creyera necesario.

DARA DOS CONFERENCIAS SOBRE EL JAPON EN SANTA FE EL DR. FRANCESCHINI

El ex-becado del Instituto Internacional de Estudiantes de Tokio, doctor Victorio Franceschini ha sido invitado por la Universidad Nacional del Litoral, Santa Fe, para dar dos conferencias sobre el Japón dentro del mes en curso.

EXHIBICION DEL ARTE FLORAL DEL JAPON

El Instituto Cultural Argentino-Japonés realizará en breve una exhibición del Arte Floral del Japón, cuya organización está a cargo de los señores K. Yokohama y G. Yoshio Shinya.

H. KATO
Unica Fábrica Japonesa de Tejidos de Sedas y Gran Instalación de Tintorería
Herrera 2097 y 2111 U. T. 21-1841

LAMPARAS "YAMADA" DE CALIDAD



Luz clara - Terminación perfecta - Selección especial

USE LAMPARAS "YAMADA"

En venta en las buenas casas del ramo

Kokusai Bunka Shinkokai

(Sociedad de Fomento de Cultura Internacional)
TOKIO, (Japón)

Agentes en Buenos Aires: G. YOSHIO SHINYA

CORRIENTES 330

LIBROS y FOLLETOS

Útiles para Consultas relacionadas con el
Concurso de Monografía de Estudios
sobre el Japón

(Biblioteca del Instituto Cultural
Argentino-Japonés)

LIBROS EN CASTELLANO

- El Libro del Té.* — Kakuzó Okakura.
Imperio del Sol Naciente. Bosquejo histórico. Características nacionales. — G. Yoshio Shinya.
Los ideales del Japón. Un curso de cultura japonesa. — G. Yoshio Shinya.
El Japón. Su desarrollo cultural. — Ryuchi Kaji.
Literatura Japonesa. — Prof. Takeshi Furukawa.
El Japón. Geografía, Historia, etc. — Juan Soler Sanuy.
El Japón Moderno. — Prof. Alfredo Oneto.
La expansión japonesa. — Esteban Roldán Oliarte.
Influencia Occidental en la Historia y en la Cultura del Japón. — Isuru Shinmura.
El Desarrollo del Arte Teatral Japonés. — S. Kawatake.
Los Elementos Humanos en la Cerámica. — K. Fukui.
Tanka. Poesías Japonesas. — Nico D. Horiguchi.
Maestros Japoneses (La obra y el hombre). — Ricardo Gutiérrez.
Tendencias de la Literatura Contemporánea del Japón. — Kan Kikuchi.
La Marina Japonesa. — Almirante Pedro S. Casal.
Sentido del Espiritualismo Japonés. — Victorio Franceschini.
Estética y Heroísmo del Alma Japonesa. — Albino Pugnalin.
Bushido, el Alma del Japón. — Ver las revistas Oriente y Occidente.

LIBROS EN FRANCES

- Jardin Japonaise.* — S. Tamura.
Histoire du Japon. — K. Hara.
Histoire de la Civilization Japonaise. — G. B. Sansom.
L'Europe en Asie. — Claude Farrère.
Le Japon en Chine. — K. K. Kawakami.
Le Bushido. — Inazo Nitobe.
Le Japon Mystique.
Antologie de la Poesie Japonaise. — Georges Bonneau.
L'Art du Japon - Hokusai. — Yone Noguchi.
Histoire de la Literature Japonaise. — Kuni Matsuo.

INSTITUTO CULTURAL ARGENTINO JAPONES

Biblioteca Pública — Cursos de Japonés
INFORMACIONES CULTURALES

Calle VIAMONTE 1435

LIBROS EN ALEMAN E ITALIANO

- Die Geographischen Cundlagen des Japanischer Wesens.* — Leopold G. Scheild.
Grundlinien der Architectur Japans. — Bruno Taut.
Ko-Gi-Ki (Traducción Italiana). — Mario Marega.

LIBROS EN INGLES

- A Guide to Japanese Studies.* — Kokusai Bunka Shinkokai.
The Japan Year Book.
An Outline History of the Japanese Dance. — K. B. S.
Folk-Crafts in Japan. — K. B. S.
Japanese Music. — K. B. S.
A Historical Sketch of Japanese Customs & Costumes. — K. B. S.
The Noh Drama. — K. B. S.
Human Elements in Ceramic Art. — K. B. S.
Art of the Landscape Gardening in Japan. — K. B. S.
Japanes Gardens. — Samuel Newsom.
An Introduction to Japanese Art. — K. B. S.
On Japanese Art. — Giacinto Auriti.
History and Trends of Modern Japanese Literature. — K. B. S.
Summer Palace and Lama Temples in Jehon. — K. B. S.
Educational and Cultural Background of the Japanese People. — K. B. S.
The Social Ststus of Japanese Woman. — K. B. S.
Ancient Japan in the Ligth of Anthropology. — Dr. Ryuso Torii.
Buddhist Philosophy and its Effects on the Life and Thought of the Japanese People. — Daisetsu T. Suzuki.
The Climate of Japan and its Influences on the Japanese People. — K. B. S.
The Development of Economic Life in Japan. — K. B. S.
Hiroshige and Japanese Landscapes. — T. L.
Sakura - Japanese Cherry. — T. L.
Japanese Gardens. — T. L.
Japanese Drama. — T. L.
Japanese Architecture. — T. L.
Castles in Japan. — T. L.
Japanese noh Plays. — T. L.
What is Shinto? — T. L.
Hot Spring in Japan. — T. L.
Kimono - Japanese Dress. — T. L.
Japanese Food. — T. L.
Judo (Jiujitsu). — T. L.
Family Life in Japan. — T. L.
Scenery of Japan. — T. L.
Japanese Education. — T. L.
Japanese Music. — T. L.
A Glimpse of Japanese Ideals. — Jiro Harada.

Cultural Nippon - March 1940. — History of the foundation of Japan Prince Shōtoku & his 17 article Constit.

Self-Portrayal of Japan. — Y. Takekoshi.
Travel in Japan - 1940. — What is fundamental in Japan-s Progress? Landmarks in Japanese History.

¿QUE ES LO FUNDAMENTAL EN EL PROGRESO JAPONES?

Imperial, exactamente lo mismo que los gobiernos modernos de países adelantados. El Japón tuvo el idioma nacional en el sentido moderno de la palabra, en uso en todo su territorio, antes que ningún otro país en el mundo.

En el siglo XI, el idioma japonés tuvo un progreso notable con el silabario similar al alfabeto europeo, el cual ha estimulado el desarrollo de la literatura nacional. La literatura japonesa posee los elementos del realismo moderno de Europa. Son, todos estos, manifestaciones del racionalismo científico contenido en la vieja civilización nipona.

Lo mismo puede decirse de la parte material de la civilización antigua del Japón: el arte de temprar hierro está considerado como una invención japonesa y no china. A este arte se debe el forjar la famosa espada japonesa, cuyo proceso delicado y complejo la ciencia moderna no ha podido aún teorizar satisfactoriamente.

Dotado de tales cualidades, los japoneses no están satisfechos de los progresos científicos realizados desde la introducción de la civilización occidental; quiere adelantar más. Aptitud y fuerza espiritual que son temidas como una amenaza en el occidente, donde no han logrado comprender las cualidades fundamentales de la civilización japonesa, noble y humano como la enseñanza divina.

KOKORO

Por Lafcadio Hearn

(Continuación)

Genio de la Civilización Japonesa
La ausencia de signos notables, de cosas realmente grandes hechas en el Japón, lleva testimonio en la manera muy peculiar como se ha desarrollado su civilización. No puede seguir así para siempre, pero así se hizo hasta ahora con éxito sorprendente. El Japón está produciendo sin capital, en el sentido lato de la palabra. Se ha indus-

Sastrería Japonesa

Fundada en el año 1916

de S. Katayama

PIEDRAS 572

U. T. 33-5452

trializado sin alcanzar a ser esencialmente mecánico y artificial. La vasta cosecha de arroz se levanta en millones de pequeñas chacras; la cosecha de seda, en millones de hogares humildes; la cosecha de té, en sin número de insignificantes parcelas de tierra. Si uno visita en Kioto para encargar algo en una de las fábricas de porcelana más grande del mundo, cuyos productos son más conocidos en Londres o París que en el mismo Japón, verá que se trata de una choza de madera, en la cual no viviría ningún labrador norteamericano. El gran fabricante de "cloisonne", que le pedirá por un florero de cinco pulgadas de alto doscientos dólares o más, produce su obra milagrosa en el fondo de su vivienda de madera de dos pisos que contendrá tal vez seis piezas habitables. Los mejores géneros de seda que se fabrican en el Japón, y de gran fama en el Imperio, están tejidos en una casa que costará unos quinientos dólares. Son, naturalmente, tejidos a mano. Pero las fábricas de tejidos

a máquina, donde trabajan tan bien como para arruinar a las industrias extranjeras de vasta capacidad, no son tampoco muy grandes, salvo algunas excepciones. Mas estas humildes fábricas surten de sedas para exportar a todas partes del mundo.

La tierra misma se rebela contra la imposición de arquitectura occidental; los terremotos parecen condenar al Japón a perpetuar sus edificios simples. Nada es firme en el Japón, excepto el trono. Suceden cambios idénticos con el estado político. Ministros, gobernadores, directores y altos funcionarios civiles y militares son removidos con frecuencia. La provincia en donde pasé mis primeros doce meses de residencia en el Japón ha tenido cuatro gobernadores diferentes en cinco años. Durante mi permanencia en Kumamoto, y antes que comenzara la guerra chino-japonesa, el comandante de esa división fué cambiado tres veces. El colegio oficial tuvo tres directores en tres años.

Nosotros estamos acostumbrados a pensar que cierta estabilidad es necesaria para todo progreso real y todo desenvolvimiento de importancia. Pero el Japón ha dado prueba irrefutable de que son posibles desenvolvimientos grandiosos sin ninguna estabilidad. La explicación está en el carácter racial — de un carácter racial opuesto al nuestro en más de un modo. Uniformemente móvil y uniformemente impresionable, la nación ha marchado unida hacia los grandes destinos.

La ausencia relativa del carácter nacional del individualismo egoísta ha sido la salvación del Imperio; lo ha habilitado para preservar su independencia contra numerosos peligros. El Japón puede estar agradecido a sus dos grandes religiones: al Shuitoismo, que le enseña al individuo a pensar en el Emperador y en su país antes que su familia o a sí mismo; al Budismo, que lo educó para el dominio de sí mismo, ser fuerte en dolores, y aceptar la ley eterna de la mutación de las cosas.

<p>"NAMBEI" Compañía de Importación y Exportación Sociedad Anónima Telegramas "NAMBEI" U. T. (33) 3001, 3002, 3003, 3004, 3008 y 3571 T. T. Buenos Aires, 904 BARRIENTO 470 BUENOS AIRES</p>	<p>T. NISHIZAWA Representante de Mitsubishi Shoji Kaisha, Ltda. FLORIDA 229 — U. T. 33-2981-2982</p>	<p>F. KANEMATSU y Cia. Ltda. Importaciones y Exportaciones JUJUY 136 - U. T. 46, Loria 5823 y 5824</p>	<p>S. TSUJI Importador BALCARCE 682 - U. T. 33 Avda. 5744</p>
<p>H. KATO Unica Fábrica Japonesa de Tejidos de Sedas y Gran Instalación de Tintorería Herrera 2099-2111 - U. T. 21-1841</p>	<p>S. YAMADA y Cia. Importadores MORENO 2039 U. T. Cuyo, 47-4364 y 4406</p>	<p>PIDA SIEMPRE Marca KANEBO PARA TEJIDOS RIVADAVIA 1210 (4o. piso) U. T. 38 - 3239</p>	<p>LA MAISON SATUMA K. YOKOHAMA Objetos de Arte y Antigüedades ESMERALDA 1080 - U. T. 31 - 8801 Sucursal: SUIPACHA 865 - U. T. 31-4837</p>
<p>SADAO HATTORI IMPORTADOR Especialidad en artículos de Capilería INDEPENDENCIA 2650 U. T. 45-3218</p>	<p>IIDA y Cia. Ltda. (Takashimaya) Importadores y Exportadores RODRIGUEZ PERA 162 U. T. Mayo 38-3419</p>	<p>M. OMURA Importador de artículos generales del Japón SAN MARTIN 235 - U. T. 38-2683</p>	<p>S. KAISEKI Representante de DAIDO BOEKI KAISHA LTD. Kobe, Japón Importación y Exportación MORENO 1388 - BUENOS AIRES U. T. 38 - Mayo 7286</p>
<p>KATSUDA y Cia. Importadores MEXICO 1474 - U. T. 38, Mayo 2313</p>	<p>N. HARA y Cia. Importadores BELGRANO 1470 U. T. Mayo 38-2438 y 9437</p>	<p>S. ANDO y Cia. Importadores DEFENSA 532-40 U. T. 33 (Av.) 2296</p>	<p>NAOJI SAITO BUENOS AIRES BOEKI ASSENJO CORRIENTES 330 - 5º piso</p>
<p>B. TAKINAMI Importador Casa Establecida en el año 1905 VICTORIA 2702 — U. T. 45 - 8180</p>	<p>CARLOS C. ISHIY Importador y Exportador Bm6. MITRE 341 - U. T. 33 Avda. 9782</p>	<p>JIRO HONDA Y CIA. Importadores de Artículos Generales del Japón MORENO 1320 - U. T. 38 Mayo 2718</p>	<p>GUIA JAPONESA LEGACION DE JAPON Corrientes 330 - U. T. 31-3004, 6 CONSULADO DEL JAPON Corrientes 330 - U. T. 31-3004, 6</p>
<p>I. HIROTA Importador de artículos generales del Japón CHILE 1029 - U. T. 37 (Riv.) 0251</p>	<p>TAKAO ARAI Representante de B. ESPECIE DE YOKOHAMA Ltda. Avda. ALVEAR 3900 — 7o. piso U. T. 72 - 1469</p>	<p>Casa "YAMANAKA" Oriental Fine Art Curious VIAMONTE 624 - U. T. 31 7846</p>	<p>NAMBEI KUMIAI Federación de Asociaciones Exportadoras e Importadoras del Japón CORRIENTES 330 - U. T. 31-2690 INSTITUTO CULTURAL ARGENTINO-JAPONES: Viamonte 1435.</p>
<p>N. IKEDA The National City Bank of New York BARTOLOME MITRE 502 U. T. Avenida 33 - 4081</p>	<p>CASA ITOH (S. OHTA) Representante de C. Itoh y Cia. Ltda. SAN MARTIN 66 - Esc. 504-506 U. T. 34, Defensa 5158</p>	<p>K. KAWAI Compañía Argentina, Comercial e Industrial de Pesquería DEFENSA 1597 U. T. 23-8256</p>	<p>ASOCIACION JAPONESA: Patagones 840. — U. T. 23-4893. COMPANIA DE VAPORES O. S. K.: ROQUE S. PERA 616 - 2º Piso U. T. 33-1051 - 1052 - 1053 y 9996</p>